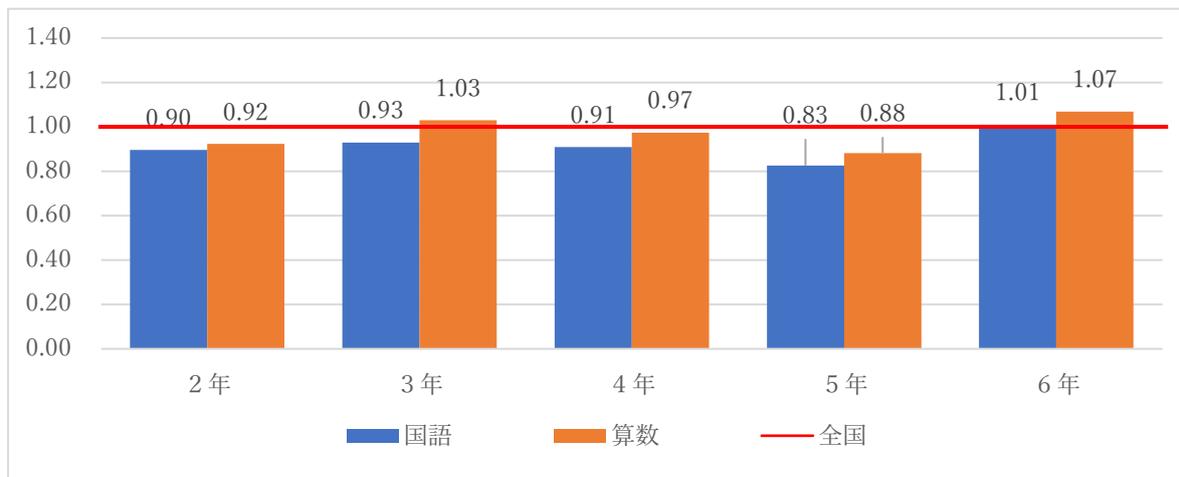


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第八中学校区 西小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「物語や説明文を読み取る」「調べたことをもとに文章を書く」問題に課題が見られた。児童が長文に関わることを増やし、その中の内容を整理して書く学習活動の更なる充実を図っていく。
	算数	「数と計算」領域は比較的良好であるが、活用に関しては課題が見られたので、授業の中で活用問題を多く取り入れていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」ことに課題があった。自分たちの話し合いの内容や自分の意見をわかりやすく文章にまとめる活動を大切にしていく。
	算数	ほとんどの設問において全国値を超えており、日常の事象を数理的に捉え数学的に問題発見・解決する学習活動を大切にしていく。また、問いの答えに対して、理由を言葉や数を用いて記述できるように授業で取り入れていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」の質問に、「2時間以上」と回答した児童の割合は、全国平均より5ポイント高く、「読書は好きですか」の肯定的回答も15ポイント高かった。引き続き、読書に親しむ取組を進めていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。個別最適な学びを推進するために、特に算数・数学において個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い、自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【 学 校 】

各学年、今年度の結果を分析し、授業や宿題での反復学習を通して、既習内容の定着を図っている。また、中間到達度テストを行い、今年度の学習内容においても繰り返し問題に向かうきっかけを作っている。また、読解力にも課題があるので、全校で本を読む機会や、本に親しむきっかけとなる取組を進める。